

少子化に伴う子育て支援 のさらなる充実について

佐久間 順子



〔質問〕ゼロ歳児から2

歳児の保育料の無償化は単独の財源を使ってもやるべきと考えるが、市長の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕ゼロ歳児から2歳児の保育料の無償化は、非常に有効な施策であると考えている。一方で自治体の財

源状況により、教育や子育て環境に差が出ないようにするべきであるとも考えており、全国市長会、全国青年市長会を通じ、国に対して全国一律での対応を要望している状況である。継続して事業を行うためにもしっかりと財源を確保した上で進めていくことも非常に重要であ

る。今後、財源なども含め検討していく。

〔質問〕こども誰でも通園制度も取り入れていくのか伺う。

〔答弁〕〔教育長〕令和8年4月1日から、第二幼稚園での実施に向け現在準備を進めている。

〔質問〕病児・病後児保育について、いつ頃を目途に実施していくのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕今年4月に一般社団法人白石市医師会から病児・病後児保育施設の開設に向けての要望書が提出されており、白石市医師会からも全面的に支持をいただいていることから、現在開設に向けての準備を進めている。実施場所には医療機関との連携が必要となることから公立刈田総合病院に設

置し、開設時期について

も今後、医療法人仁誠会と協議をしていく予定であるが、必要となる設備や人員配置、どの

ように受け入れが可能かなど事業内容について詳細に協議していくことが必要なことから、

令和9年度中での開設を目途に進めたいと考えている。

〔質問〕中学校入学祝いの金の助成も今後取り入れて欲しいと考えるが、市長の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕恒常的な財政負担が必要となることから、国や県に対して補助金などの要望を行うほか、本市の財源状況、他自治体の動向などを踏まえ研究していきたい。

〔その他の質問〕

◎放課後等デイサービスと保育所等訪問支援について

本市のクマ対策について

大内 卓也



〔質問〕クマ出没マップは作成公開されているか伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕県が「令和7年度クマ目撃等情報マップ（速報）」として公表している。

〔質問〕クマの出没頻度が増加している地域への対策について伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕被害防除対策として、電気柵の設置補助や廃棄野菜・生ごみの適正処理方法、目撃情報の周知、有害個体の捕獲、生息環境管理として、放

任果樹の除去・山林に接する耕作地での山林側の除草の周知などを行なっているところである。

〔質問〕市民へのクマに対する防災啓発活動について伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕安心メールやLINEで出没情報の周知を行っている。

〔質問〕クマが出没した際の迅速な対応体制は整っているか伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕クマを目撃した際は、農林課や警察署に目撃した日時・場所、頭数や大きさ、被害の有無、逃げた方向、情報提供者の連絡先などの情報をお寄せいただきたい。

〔質問〕捕獲したクマの処理方法はどのようにされているか伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕白石有害鳥獣解体場で10キロほどの残さになるように解体した後に

冷凍保存、一定数の残さが溜まり次第仙南環境公社が仙南クリーンセンターに搬送し、焼却処分をしている。

〔質問〕学校・公民館などの公共施設において、クマ対策の教育・訓練を行なっているか伺う。

〔答弁〕〔市長〕県や専門家の助言を得ながら検討を行なっていく。

〔教育長〕登下校時等におけるクマへの注意喚起やクマから身を守るための指導をするよう指示をしている。

〔質問〕他の自治体で効果的だったクマ対策の事例を参考に考えるはあるか伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕今後は、市町村へのさらなる支援を求め、国や県と連携し対策を講じていきたい。